

昭 議会だより 第100号

群馬県昭和村議会

令和3年2月1日 12月定例会



船をかたどった役場庁舎



建設中の役場庁舎(昭和44年～45年)

Contents

- 2～3 12月定例会
- 4～5 全員協議会・トピックス
- 8～14 村の姿勢を問う

12月定例会

今定例会は、12月10日から17日までの8日間の会期で開催されました。議案16件、発議1件の計17件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

条例改正

昭和村手数料条例の一部改正

マイナンバー法の一部改正により「個人番号の通知を通知カードによらず行うものとする」ことになり、通知カードが廃止されたため、通知カード再発行手数料を削除する改正。

条例廃止

昭和村契約条例の廃止

財産の売却及び工事の請負並びに物件、その他の供給に伴う契約について規定していたが、近年の契約方法の多様化や発注方法の実態と乖離が見られるため、関連規則等を一体的に見直しすることに伴う廃止。

補正予算

令和2年度一般会計補正予算(第5号)

4億6964万8千円を増額
総額 60億4796万9千円

ふるさと納税の寄附金の増額に対する返礼品費等の事業費、新庁舎建設に係る公用車駐車場の整備費、道路等の補修費用、給食センター調理室のエアコン修理工事費等による増額。

令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

3370万6千円を増額
総額 12億8814万7千円

第三者行為における損害賠償事案発生及び今後のインフルエンザの流行等に備えた療養給付費の増額。

令和2年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

2万1千円を増額
総額 2億9677万4千円

南部簡易水道さく井工事用地借上料による増額。

令和2年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

200万円を増額
総額 5億478万2千円

新規加入戸数の増加が見込まれ、想定した工事請負費が不足することによる増額。

令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

2656万5千円を増額
総額 8億6126万4千円

有料老人ホーム等の入所者に係る給付費の増、前年度の介護給付費負担金等の精算に伴う償還金による増額。

令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

50万8千円を増額
総額 8693万1千円

群馬県広域連合への保険料納付金の増額。

人事

昭和村監査委員の選任同意

加藤生委員の辞任に伴い、永井一行氏の選任に同意。

その他

令和2年度 南部簡易水道さく井工事契約の締結

南部簡易水道さく井工事に係る工事請負契約を議決。請負業者 藤田エンジニアリング株式会社

代表取締役 藤田 実

契約金額

1億2980万円

発議

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう医療・介護・福祉に十分な財源確保を行い、また、医療体制の充実を図っていただきたい旨の意見書を提出する。

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣



臨時会
11月24日、令和2年第5回昭和村議会臨時会を開催。
○昭和村職員の給与に関する条例の一部改正
○昭和村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正
○昭和村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
役場職員、特別職、議員の今年度12月分の期末手当を0・05月引き下げ、来年度の6月分及び12月分の期末手当の支給を平準化するための条例改正。

みなさんからの請願・陳情

自 令和2年11月10日 至 令和2年11月13日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
22	R 2.11.10 (郵送)	父母による子どもの共同養育に関する陳情	群馬県渋川市北橘町真壁1829 ぐんま子ども愛育の会 会長 猪熊 篤史		総務 民生	趣旨採択
23	R 2.11.13	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書	群馬県前橋市本町3-9-10 群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 石関 貞夫		総務 民生	採択 (意見書提出)

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		沢浦典子	林勝美	倉沢つかさ	阿部孝司	片柳悦夫	林祐司	林幸司	横坂末吉	永井一行	加藤生	藤井貞充
第6回定例会(令和2年12月10日～17日)												
議案第56号	昭和村手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第57号	昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第58号	昭和村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第59号	昭和村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第60号	昭和村契約条例を廃止する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第61号	利根沼田学校組合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第62号	令和2年度 南部簡易水道さく井工事契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第63号	昭和村立小中学校GIGAスクール構想情報機器購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第64号	定住自立圏形成協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第65号	令和2年度昭和村一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第66号	令和2年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第67号	令和2年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第68号	令和2年度昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第69号	令和2年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第70号	令和2年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第71号	昭和村監査委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—

全員協議会

10月・11月・12月に開催した全員協議会での主な協議内容は以下のとおりです。

10月30日

入札に関する条例・規則等の内容変更について

村の入札に係る条例や規則の全面改正案が提示され、説明を受ける。

昭和インター線バイパス工事に伴うストックヤード予定地について

大森神社から君河原までの県道延長工事に伴う残土2万m³を千年の森へ運ぶ旨の説明を受ける。

11月27日

利根沼田地域定住自立圏の形成協定について

中心市宣言を行った沼田市と連携し、相互に役割を分担しながら人口定住に必要な生活機能確保し、地域活性化に努め、住民が安心して暮らし続けることができる定住自立圏を形成す

ることを目的とした協定について説明を受ける。

※定住自立圏構想とは

地方の市町村が連携して医療や福祉、教育、交通など地域に必要な生活機能を確保し、広域で維持する仕組み。学校や企業などが多い「中心市」と周辺の自治体が役割を分担し、機能を補完し合う。

利根沼田地域の取り組みの方向性としては、地域医療の連携強化や教育環境の整備・充実、公共施設の広域活用、障害者福祉の推進などを検討している。

新型コロナウイルス特別対策の執行状況について

実績対象期間（令和2年8月3日から11月12日まで）の執行状況について報告を受ける。

執行状況

(ア)経営支援助成金

申請受理件数108件

予算執行率83・03%

(イ)コロナ禍対応事業者応援助成金

申請受理件数80件

予算執行率69・71%

(ウ)家賃支援助成金

申請受理件数11件

予算執行率22・25%

役場敷地内における松及び石等の処分について

新庁舎建設にあたり、敷地内の松及び石の新たな所有者を村内回覧で募る旨、説明を受ける。



学校給食センター空調改修工事について

学校給食センターは、稼働から19年以上が経過し、老朽化による空調設備の不具合が生じているため、改修工事を行いたい旨の説明を受ける。



12月15日

新庁舎建設委員会の報告について

公用車駐車場の整備、新庁舎の設計及び経費削減による変更箇所などについて説明を受ける。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の執行状況について

第1次・2次分の交付限度額は、2億1467万8千円であり、12月10日現在の支出額は2億1133万4千円、98・4%の執行率となった。事業の内容は、必需物品供給事業、地域活性化事業、学校の臨時休校に伴う家庭支援事業のほか20項目に渡っており、最終事業費の見込額は2億3723万2千円である旨の説明を受ける。

議員出前懇談会に代わる意見・要望アンケートについて

各常任委員会に分かれ、ご回答いただいた271件の対応を協議した。



視 察・調 査・トピックス

秋の道路愛護巡視

11月5日、文教産建常任委員会が村内の道路を巡視し、要望のあった箇所の改善状況や路面の状態などを確認しました。

総務民生常任委員会を開催

介護保険は「予防」と「安心」で暮らしを支える制度です。11月12日に、常任委員会を開催し「介護保険制度」「地域包括支援センターの業務」について、全戸配布されているわかりやすい利用の手引きをもとに、介護保険制度のしくみやサービス利用の流れ、サービスの種類と費用など、保健福祉課担当職員から説明を受け協議を行いました。

議会広報研修会

11月20日、群馬県市町村会館にて開催された研修会に広報委員が参加しました。

「議会の「見える化」住民との信頼築く」議会広報の基本と編集」と題した芳野政明氏の講演を拝聴し、5町村が診断を受けた議会広報クリニックについても参加をし、編集技術の習得に努めました。



落語で環境を学ぶ

11月24日、落語家の立川朝志さんを招いて「くーるちょいす」と題した環境落語を聴きました。20分程度の短い時間でしたが、地球温暖化問題を再認識しました。

朝志さんは、昭和29年渋川市生まれの66歳。このほかにも、健康落語、交通安全落語、防犯落語などを得意とし、全国の高座を忙しく駆け回っています。

文教産建・総務民生常任委員会合同視察研修

農家が畑で使うマルチやビニールハウスなどは産業廃棄物となり、処分する農家負担は年々大きくなります。その負担を軽減できないかと今回11月26日に、栃木県矢板市の「日省エンジンアリング」を視察してきました。『有機物磁気熱分解エネルギー変換装置』は、焼却炉とはちがいが磁気と装置内の熱源のみで有機物を分解・減容するものです。

また、発生するガスで蒸気発電するなどのリサイクルもできるものです。

有機物であれば何でも分解できCO₂やダイオキシン類の排出を抑えて環境にも良いということです。



総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

陳情を審査 1 件を採択 1 件を趣旨採択

12月11日に、総務民生常任委員会を開催し、以下のとおりとした。

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情を採択

今後も予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療・介護・福祉に十分な財源確保を行い、また、医師・看護師・医療技術職・介護職等の大幅増員を国に求めることが不可欠であるとし、全会一致で採択した。

父母による子どもの共同養育に関する陳情を趣旨採択

未成年の子どものいる夫婦の離婚等に対して養育費の支払いや面会交流の取り決め等の支援をしてほしいとの陳情。共同養育に理解できると趣旨採択とした。

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書

2020年の新型コロナウイルスによるパンデミック(感染爆発)は、日本国内でも大きな影響を広げました。経済活動や国民生活にも深刻な影響を及ぼすと共に、「医療崩壊」などが取りざたされ、国民のいのちと健康が脅かされる事態が広がりました。この感染症対応の経験から明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足や、それらを中心的に担っている公立・公的病院の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健所の不足問題などです。これらの諸問題の背景には、90年代後半から続いてきた医療・介護・福祉など社会保障費の抑制策や、公衆衛生施策の縮減があります。

21世紀に入り、わずか20年の間に、SARS、新型インフルエンザ、MERS、そして今回の新型コロナウイルス感染症と、新たなウイルス感染症とのたたかいは短い間隔で求められ、今後も新たなウイルス感染症への対応が必要になることは明らかです。

新型コロナウイルス感染症対策の教訓を経て、国民のいのちと健康、暮らしを守るためにも、そして新たなウイルスの感染拡大や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題です。

国民が安心して暮らせる社会実現のために、下記の事項について国に要請します。

記

1. 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行っていただきたい。
2. 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図っていただきたい。
3. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員していただきたい。
4. 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図っていただきたい。また、ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充していただきたい。
5. 社会保障に関わる国民負担軽減を図っていただきたい。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和2年12月17日

衆議院 議長 大島 理森 様
参議院 議長 山東 昭子 様
内閣総理大臣 菅 義偉 様
厚生労働大臣 田村 憲久 様
財務大臣 麻生 太郎 様
総務大臣 武田 良太 様

群馬県昭和村議会
議長 藤井 貞 充

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

所管事務調査の実施

12月14日に、文教産建常任委員会を開催し、所管事務について、村長をはじめとする担当課長及び係長に質問をし協議した。

【建設課】

生越清水の村道に常時水が流れているが

この水は、山から湧き出ている水なので、関係機関と協議をして対策をとりたい。



【産業課】

トラクター・農産物等などの盗難被害状況は

村内では、大きな被害は発生していませんが、ほうれん草・アスパラ等は盗難被害が報告されています。



道の駅、新設駐車場の土手の利用方法は

現在の計画では、長い土手を利用した、すべり台等の遊具の設置は計画されていません。

【教育委員会】

中学生送迎のルート新設の検討は

中学校の送迎では、校内の駐車スペースが少なく、学校周辺で乗降せざるを得ない状況です。このことは、長年の課題となっていますが、解決に至っていません。解決方法として、駐車場の拡張が考えられますが、土地購入等については、学校在り方検討委員会に諮問したいと考えています。



外部試験(英検・漢検など)受験料の補助は

近隣市町村の現状を確認し、検討をします。

学校在り方検討委員会の今後の予定は

今年度は、コロナ禍で会議の開催が出来ず、内容についての進展はありません。来年度は、一部メンバーの変更はありますが協議を進めて行きます。

旧南小跡地を みんなで使える広場に

村長 整備の予定はない
総合運動公園の利用を



沢浦 典子 議員

問

旧南小学校跡地の
遊具は使用禁止で

使えない。安全で皆さん
が集まりやすい場所を活
用しないのは勿体ないの
ではないか。夏は草に覆
われ、また社会体育館の
駐車場として使われてい
る。子供はもちろん、大
人も楽しめる広場は作れ
ないか。

良い計画があれば教え
てほしい。

答 村長

旧南小学校跡地にある
遊具については、現在の
安全基準に適應していな
いため年度内に撤去を予
定しております。管理に
費用がかかり、地域のバ
ランス問題も検討が必要
であり、そのため、村で
は総合運動公園一か所に
遊具を集約させています。
旧南小学校跡地につい
ては、森下の長寿会の方
々の協力を得ながら管
理していることから、今
後についても、相談をし
ながら活用を考えたい。



問

地区から出されて
いる請願・陳情につ
いて、採択されている
にもかかわらず着手し
ていない案件は何件くら
いあるのか。また、優先
順位はあるのか。

答 村長

平成22年度から令和元
年度までで採択されたも
のは60件であり、その
うち、実施済み、一部実
施済みと合わせるとおよ
そ7割強を実施しています。

道路関連の請願・陳情について

実施の順番について
は、緊急性や危険性、公
共性等を考慮し実施判断
をしています。

実施する際は、地元議
員及び区長さんにお知
らせし着工したい。





林 勝美 議員

ぐんま緑の県民基金市町村 提案型事業について

村長 荒廃した森林の整備などに寄与している

問 この事業は、村にとつてどのような意義があると認識し、どのように推進しているのか。

答 村長

本来、個人の所有物である森林や竹林は、所有者の責任において管理するものですが、木材価格の低迷などによる林業の衰退などにより管理ができなくなった森林等を地域の要望などにより実施してきました。この事業により、荒廃した森林の整備等に寄与してきたものと認識しています。

問 現在までの実施状況は、どのようになっているか。

答 村長

平成26年度から令和元年度までに困難地整備支援事業により竹林・森林伐採等の整備事業が19か所、管理事業を7団体が



実施しました。本年度は竹林・森林伐採等が7か所、管理事業を7団体が実施する予定です。

また、粉碎機も3台購入し、この事業を有効に活用しています。

問 伐採後は、どのような方法で管理されるのか。

答 村長

事業を要望された団体に対し、一定期間について維持管理をお願いしています。下草刈りや竹の伐採等がありますが、管理団体が直接実施する方法と、専門事業者に作業を委託する方法があり、多くの場合、専門業者に委託をしています。

問 伐採した竹林に桜やつつじ等の植栽をしたらどうか。

答 村長

植栽等については、一部そういった箇所もあります。ただ、その後なかなかその管理が行き届か

ないということもあるので、そういったことを進めるのであれば、きちんと継続できるような体制をつくって取り組んでいただけたらありがたいと思います。



新しく導入された大型粉碎機

高齢者福祉「ごみ出し・ 買い物困難」村の対策は

村長 住み慣れた地域で
生活が継続できるように検討



倉沢つかさ 議員



問

いつまでも、昭和村で安心して暮らせるための高齢者福祉について、二つの項目に分けて村の対策をお伺いします。

一つ目は「ごみ出し」について。

家庭ごみをごみステーションに出せない村民への支援はありますか。

答 村長

介護や障害サービスにおけるホームヘルプサービスを利用する方が家事援助サービスの一環として実施しているのみです。歩行が大変になった方や車の運転をやめてしまったごみを出すことが困難な方には、昨年設立した生活支援体制整備事業の協議体の組織にお諮りしながら、ごみ出しのお手伝いができるよう検討していきたいと思います。



問

二つ目は「買い物困難」について。

移動手段のない方の買い物難者に対しての支援策はありますか。

車の運転が出来なくなったり、バスの本数も少なく、近所の方にお世話になるのも、もしもの事があると頼みづらい。生活に必要なものを購入するための支援・取組をお聞きます。

答 村長

買い物支援は、住み慣れた地域での生活を継続する上では非常に重要な問題であり、喫緊の課題であります。

来春には、移動訪問販売について、沼田市内のスーパーマーケットと村で実施協定を締結することとしているので、更なる便宜供与が図れるものと考えています。





阿部 孝司 議員

人口減少に歯止めを

村長 子育て世帯の経済的な支援を
切れ目なく行う

問

令和元年第3回定例会で、総合戦略で人口減少を克服するための施策に取り組むとの村長答弁があったが、その結果及び今後の取組について、また、第5次総合計画の後期基本計画との関連性についてお示し願いたい。

答
村長

少子化対策として不妊治療助成を継続的に実施し令和元年度までの5年間で治療を受けた方の6割以上、人数で23名が出産しました。また、結婚新生活支援事業補助や、子育て支援の取組として、子育て支援金給付事

問

子供が増えなければ人口減少が加速してしまいます。業、第2子以降保育料無料化事業などを実施し、更に第5次総合計画の後期基本計画でも子育て世帯の経済的な負担軽減の支援を切れ目なく行うこととしていきます。

答
村長

結婚・出産・子育てのために最大限の力を注ぐべきと考えるが、村長の見解を伺いたい。重点をしばらく、経済的支援等々については来年度予算編成に一工夫出来ればと思います。

道の駅めぐりーむ昭和周辺開発を

問

道の駅めぐりーむ昭和の周辺は、昭和インターが近く、交通の便がよいと思います。今、コロナ禍でリモートワークが増えたため、会社への出社が少なくなり、東京など都会から通勤が可能などところに移住する人が多くなっています。移住の促進について考えを伺います。

いる移住相談会に参加しPRするとともに、移住希望者の相談に応じております。しかし、昭和村を知らない方が多いのが現状です。ですから、まずは昭和村を多くの人に知っていただき、事業の効果を検証していきながらPR活動に努めてまいりたいと考えています。

問

移住促進に有効と考えられる事業は、今後も様々な角度から検討していきます。インターから10分程度のところが通勤可能な範囲であり、南小近辺までがそのエリアになると思います。

問

道の駅近くに宿泊施設ができたらいと思うが、村長の考えを伺いたい。

答
村長

以前から宿泊施設の整

備は検討していますが、多くの課題があり、なかなか厳しい状況です。今後も、いろいろなところの宿泊施設を研究し、地域創生事業等々も含めて検討していければと思っています。

提案として、道の駅の周辺はインターもあり村の玄関口に当たります。開発することによって、昭和村のさらなる発展が期待できるので、是非とも対策チームなどをつくっていただき宿泊施設等ができたらいと思っています。



片柳 悦夫 議員

総合運動公園に 健康遊具の設置を

村長 子ども達の安全性の確保が
難しく設置は困難

問

総合運動公園内のグラウンドゴルフ場の工事が終われば、ほぼ完全に整備が終わる。そこで、渋川市赤城健康公園にあるような、お年寄り向け健康遊具の設置を検討していただきたい。

答
村長

近年、大人向けの健康遊具を備えた公園施設が増えてきており、近隣では、東吾妻町の道の駅や渋川市の施設など、群馬県内にも少しずつ増えてきており、大人の方の公園利用者が増えてきているようです。

一方で、健康遊具による12歳以下の子どもの骨折等の事故も発生しております。

平成26年6月に国土交通省より通達された「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」では、児童用遊具と健康遊具を同じ区域内に設置した場合、健康遊具による子ども達の事故が懸念さ

れることから、十分な安全配慮をするよう示されました。

この指針を踏まえ、と、既存の児童用遊具のある総合運動公園内に健康遊具を併設することは、子ども達に対する安全性の確保が難しいことから、健康遊具の設置は難しいと考えます。

問

児童用遊具のある所に大人向け健康遊具を設置するのは難しいようだが、グラウンドゴルフ場の近くに子ども達にも安全な遊具を選定しての設置はどうか。

答
村長

分類をして設置をするのであれば、そういったことの可能性もあるのかなというふうに思われます。

また、その器具の種類についても、調査・研究をして、場所等々の問題もありますけれども、そういったところを工夫すれば可能かなと思います。



健康器具の一例



林 幸司 議員

保育園の完全給食と 学校給食費無料化を

村長 今期村長選公約の
給食費軽減はしていきたい

問 年長児の冷たいご飯持参給食の改善と、学校給食費の無料化を求めます。

答 村長

保育園で主食(月額3千円として年561万円程度)を用意するには様々な問題があり早期対応が難しいと判断しています。今期の村長選で「学校給食費の軽減」を公約しておりますので、軽減はしていきたい。

答 教育長

多様化で学校給食の重要性が増しています。現在、みどり市や渋川市など12市町村が給食費完全無料、14市町村が一部助成等、未実施が9市町村となっています。本村は現在、2割を公費で助成していますが、食材費に4千万円近くかかっており、また、施設の整備や人件費等にもかなりのお金がかかります。



給食費については、保護者負担が増えないよう配慮していきたい。

給食費無料化

35市町村の現状

完全無料化	12
一部助成等	14
未実施	9

特別障害者手当の現状は

問

在宅の6割が老老介護で年金収入のみの家庭も多い。要介護4・5で重度の人も対象となるので、制度の一層の啓発を求めます。

答 村長

現在3名の方が年額32万円余を受給しています。村は受付のみ、認定と給付は県保健福祉事務所が行っています。

今後は、村のホームページからも閲覧できるようにリンクを貼るなどし周知を図っていきます。



種苗法改悪で登録品種自家増殖に許諾制

問

米アグリビジネスや種苗企業の利益のために種子法が廃止され、種苗法が改悪された。農業を守る立場からの対応を求めます。

答 村長

みやままさり、やよいひめなど25件が県登録品種で、令和4年度から自家増殖が許諾制(有料も有り)となります。

衆参両院の農林水産委員会は、自家増殖の権限が農業経営を圧迫しないよう「種苗が適正な価格で安定的に供給されることと自家増殖等の許諾手続きが農家の負担にならないよう適切に運用することなどを求める附帯決議」を採択したので、その内容に期待し注視していきたいと考えています。

役場庁舎内での村民対応は

村長 安心して来庁できるように努める



加藤 生 議員

問

コロナ禍の中で大きく変わってしま

った日常生活ですが、役場庁舎内も様変わりしてしまい、検温や手の消毒、そして村民の皆さんが相談に見える各課の窓口業務の職員との間にあるポリシート、これらは臨時的措置と想っていました。が間もなく年を越せば一年になるうとしていきます。

今後も終息の見えないコロナへの防御が続くものと思われま。コロナは飛沫感染力が強いのでアクリル板での遮蔽を提案します。

村民の皆さんと職員の人たちとの間に、コロナによってバリアを作るのではなく、相談に来た人に気持ちは寄り添って相談に乗っていただきたいと思っています。

村長の見解を伺いたい。

答 村 長

非接触検査機を設置し、来庁者を自動で検温し、消毒液の噴霧も行うことができ、感染予防に對して充実を図りました。役場は施設及び機能とも村の核であり、その機能が喪失するようなことがないように、また、村民の皆さんが安心して来庁していただけるよう努めてまいります。

少子高齢化、村独自対策は

問

子育て世代応援のための出産育児一時金について、村独自の積み上げの考えはあるのか伺いたい。

答 村 長

村では産科医療補償制度に加入する掛け金を含めて44万円を支給しています。

国民健康保険の制度内での支給となっているの

問

で、現状を維持することが妥当と考えています。

上乗せは。

答 村 長

出産育児一時金については、国保が一体化になるので、ほかの方法で支援ができることが可能であれば検討したい。



コロナ対策で設置されたアクリル板

議員出前懇談会 意見・要望アンケート お礼

村民の皆様には、日頃から議会活動に対し格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
このたびの議員出前懇談会 意見・要望アンケート につきまして、数多くの「ご意見」や「ご要望」、「お困りごと」などをいただきました。ありがとうございました。今回いただきました、ご意見等は、現在、内容を精査しておりまして、取りまとめ後は、村当局など関係機関へお繋ぎし、なるべく皆様のご期待に沿えるよう取り組みたいと考えております。今後とも村政発展のため、ご理解とご協力をお願いいたしまして、御礼のあいさつとさせていただきます。

敬 具

令和3年1月吉日

昭和村議会議長 藤井 貞充

結 果

回答者数	167人
要望項目	271件
年 代	20代以下 6人 30代 16人 40代 18人
	50代 31人 60代 48人 70代以上 45人
	記入なし 3人
性 別	男性 95人 女性 67人 記入なし 5人

審 議

議会全員協議会	2回	総務民生常任委員会	1回	文教産建常任委員会	2回
---------	----	-----------	----	-----------	----

議会構成を変更

令和2年12月10日付けで議会構成を変更しました。

《議 長》 藤 井 貞 充

《副議長》 加 藤 生

《議会運営委員会》

委 員 長	永 井 一 行
副委員長	沢 浦 典 子
委 員	林 祐 司
委 員	横 坂 末 吉
委 員	林 幸 司
副議長(委員外議員)	加 藤 生

《総務民生常任委員会》

委 員 長	林 祐 司
副委員長	林 勝 美
委 員	永 井 一 行
委 員	阿 部 孝 司
委 員	沢 浦 典 子
委 員	藤 井 貞 充

《文教産建常任委員会》

委 員 長	横 坂 末 吉
副委員長	片 柳 悦 夫
委 員	林 幸 司
委 員	倉 沢 つかさ
委 員	加 藤 生
委 員	藤 井 貞 充

《村づくり対策特別委員会》

委 員 長	片 柳 悦 夫
副委員長	倉 沢 つかさ
委 員	(議員全員)

《議会広報編集特別委員会》

委 員 長	阿 部 孝 司
副委員長	沢 浦 典 子
委 員	片 柳 悦 夫
委 員	林 勝 美
委 員	倉 沢 つかさ
委 員	加 藤 生
委 員	藤 井 貞 充

創刊一〇〇号に寄せて



議長 藤井 貞充

先の12月議会で構成が替わり議長に選任されました。大変な重責であります。村民皆様のご指導ご鞭撻を賜りたく思います。これからも、本村の発展と村民福祉の向上に最善の努力を尽くす決意であります。

さて、我が村でも厳しい財政事情の中、新型コロナウイルス対策や人口減少、災害対策等々数多くの政策課題が山積しております。また、役場新庁舎建設も今年から始まります。

村民の皆様から負託を受けた議会と致しましては、安心安全で活力ある村づくりに向け、また開かれた議会を目指し、なお一層努力してまいります。最後に、新型コロナウイルスが一日でも早く終息する様願っております。



副議長 加藤 生
松樹千年の翠
先人に思いを馳せて。

昭和村役場が現在の地に建ち51年の時を経て、今また新たに庁舎建設の時を迎えます。

庭の松は物は申せませんが、先人は、この村が何世代も続いて行く事を願って石に刻み、松を植えました。

その証人が役割を終えた。そんな単純なものではない気がします。歴史が無くなる。でも又、新しい歴史が始まる。懐古的になるのは齢のせいでしょうか。

号数	発行日	主な内容	歴代議長
1号	平成9年10月25日	昭和村議会だより 創刊号 発行	加藤 秀光
10号	平成11年10月25日	地域活性化センター新築工事請負契約締結を承認	七五三木隆
20号	平成14年4月25日	赤城久呂保クラブ施設の寄付受納について賛成多数で可決(現 昭和の森)	七五三木隆
30号	平成16年7月25日	議員定数16人を12人に削減	吉野 藤彦
36号	平成18年1月25日	中学生模擬議会を初めて開催	澤浦 譽由
40号	平成18年12月25日	議員改選により臨時号を発行 第13期スタート	治田 貞賢
50号	平成21年4月25日	子育て支援金制度創設	金子松二郎
60号	平成23年7月15日	道の駅あぐりーむ昭和7月30日にオープン	高橋幸一郎
70号	平成26年1月15日	第1回議会報告会を実施	藤井 富夫
80号	平成28年4月25日	防災行政無線3月30日開局	高橋 昇三
90号	平成30年10月15日	アメリカ合衆国・オレゴン州・イーグルポイント市独立記念式典に参加	加藤 生
94号	令和元年7月15日	元号が令和になり初めての議会だより発行	永井 一行



永井 一行

先輩から引きつがれてきた広報誌100号発行おめでとうございます。

波瀾万丈の中、多くの皆様の助言協力を得て2年間を終える事ができました。心より感謝申しあげます。

感染症が一日も早く終息し、普通の生活にもどれる様願っています。



林 幸司

農業と縁の丑『粘り強さと誠実』でコロナ禍を乗り越え、新庁舎建設、小中一貫校ストップ、給食費無料化、乗り合いタクシー運行等、人口減少に歯止めをかけ、災害に強い村づくりに皆さんと力合わせて頑張ります。



沢浦 典子

あけましておめでとうございます。

昨年は、コロナ流行で行事の多くが中止になってしまい寂しい一年でした。

「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」ガンジーの言葉です。このように生活できれば最高です。

すっかり雪化粧した山から元気をもらい、今年が良い年にしたいですね。



林 祐司

議員生活6年中、4年間を広報活動し広報を通して議会、議員活動を村民に十分理解して貰えたかと考えたとき、疑問が残る4年間でした。

現在、議員活動で「生活弱者支援、廃マルチ、農産物輸出」等に取り組んでいます。これらを村民に報告出来るページがあったらと思います。

慣例、しきたり、を大切にしながらも広報の变革を願います。



阿部 孝司

あけましておめでとうございます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

先輩方が積みかさねて来た議会だよりが100号を迎えました。読みやすく分かりやすい紙面になる様努力していきます。



林 勝美

議会要望アンケートに寄せられた要望等を精査し、自らを律して多くの要望に応えられるよう努力する一年にしたいと思います。「自助、共助、公助」という事をベースにして、皆様の生活のお手伝いが出来ますよう、務めさせていただきます。



横坂 末吉

新年あけましておめでとうございます。

先輩達が築き上げた「議会だより」も100号を迎えることが出来ました。

昨年はコロナに始まりコロナで終わった年で行事も出来ず、特に中学生議会や海外派遣事業などが中止になり、議会だよりの内容も大変でした。

早くコロナが終息し、普段の生活、各行事が出来ることが願っています。

村民皆様のご健康ご多幸をご祈念申し上げます。



片柳 悦夫

新型コロナウイルス発生から一年。相変わらず終息のみえない厳しい状況が続いておりますが、今年こそは、ワクチンによりコロナもおさまり、平穏な日常生活が一日も早く戻ってくれる事を心より願っております。

2021年、新たな年を迎え、新たな気持ちで村内の今を明るくしたいと思っています。

倉沢つかさ

出て来る事は出て来る時に。問題は後に送らせないと決めています。コロナという敵に足踏み状態。それなら、その障害を取り除く策を前向きに考えたいと思います。歩みを止めず頑張ります。

地域でがんばる人



生涯現役

吉澤はつえさん



(池原)

とあるフリーマーケットの高校生のブースに、温かみのある作品が並んでいるのが目にとまりました。「96歳のはつえさんの作品」貝野瀬の吉澤はつえさんと知り、訪ねました。

10月25日生まれで昨年96歳になりました。23歳の時に、一歳年上の安治さんと結婚され、初めての農作業に旦那様と励まれ、4人のお子様恵まれ前向きに歩まれてきました。子育て中は、食事も、着る服も手作りしていました。

仕事をしている頃は、無我夢中で他に何もできませんでした。趣味を始めたのは、農業を辞め、自分の時間が取れるようになってからです。

日本舞踊・大正琴を習い、昭和村芸能祭で、何度もステージに立ちました。手芸をやってみたいと思ったのは80歳の時、ですが、旦那様の介護で時間が取れず、気づけば90歳。その頃、従妹に手芸品を見せてもらい、興味が沸き、作り始めました。作品を作っている時は時間の過ぎるのも忘れ夢中になって作品を増やしていきました。お地蔵さん・つぎ・雛人形・額など、作品が増える毎に作品をプレゼントした人とのふれあいの時間も増えました。まだまだ、できる限り趣味の時間を楽しみたいそうです。

「私は、家族に何不自由なく生活をさせてもらっている今に感謝し、幸せに感じています」。はつえさんのこの言葉は、苦勞したにも関わらず、常に人を思いやるお人柄を感じました。



編集室から

平成9年10月25日創刊号から数え、百号を発行する事ができました。大変有難うございました。

去年はコロナで始まりコロナで終わり、新年を迎えても未だ終息が見えません。本年はワクチンも供用され、コロナと共生して新しい生活スタイルを維持しながら社会生活を営んで行ける事を願っています。コロナに負けない強い昭和村になってほしいと願っています。

結びにあたり、議会広報がいつまでも続けて発行できますよう希望致します。

林 勝美 記

議会広報編集特別委員会

委員長 阿部 孝司

副委員長 沢浦 典子

委員

片柳 悦夫 林 勝美

倉沢つかさ 加藤 生

藤井 貞充